

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

駅業務執行体制の再構築等について提案を受ける

2月7日、支社より「駅業務執行体制の再構築等について」提案を受けました。
提案内容は以下のとおりです。

1 実施内容

(1) 営業体制の見直し

横浜駅

(2) 駅業務委託

東戸塚駅、大船駅（笠間口）、川崎駅（中央北）

※株式会社 JR 東日本ステーションサービスに業務委託する。

(3) 管理区分の変更

東戸塚駅（戸塚駅管理とする）

2 周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

3 実施日

(1) 2019年4月1日実施

営業体制の見直し

横浜駅

(2) 2019年7月1日実施

① 駅業務委託

東戸塚駅、大船駅（笠間口）

② 管理区分の変更

東戸塚駅

(3) 2019年11月1日実施

駅業務委託

川崎駅（中央北）

変更後の標準数

【2019年4月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
横浜駅	1	16	98→ 95	10	125→ 122

【2019年7月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
東戸塚駅	1→ 0	4→ 0	8→ 0	/	13→ 0
大船駅	1	14	44→ 38		19

【2019年11月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
川崎駅	1	14	49→ 43	4	68→ 62

提案の説明として支社は…

営業体制の見直しの横浜駅については、これまで中央北・中央南それぞれ券売機保守の徹夜勤務が3徹ある。これを見直して中央北についてはそのままであるが、中央南の2徹について日勤化ということを考えている。中央南には元々改札全般を総括する徹夜総括が1徹ある。券売機の台数・性能は以前と比べると機能向上し、呼び出し回数もあり減少しているところを鑑み、中央南対応徹夜総括が、夜間の券売機の保守対応も兼ねる作業ダイヤを考えている。券売機の数で全てを決めているわけではないが、総合的に判断する上での検討材料になる。

駅業務委託について、これまでお客さまのご利用状況や総合的に勘案して決めている。駅業務委託をもって安全性の欠格があってはならないし当然無いと会社として考えている。情報の伝達・共有化等そうしたところに制限は設けない。指揮・命令系統によってこれまで通りスムーズな伝達なされるものと考え受託会社と管理体制を含めて調整していく。これまでの業務委託の施策と同様に支社の応援については変わらない。安全レベルの低下は無いと考えている。大船駅（笠間口）については総合的な業務量等を鑑みて決定した。今行なっている徹夜体制をそのまま業務委託すると考えている。当然ながら関係箇所とのコミュニケーション・情報等はしっかり把握しながら進めていくところはこれまでと変わらない。戸塚駅が管理駅（東戸塚駅）となるが、色々勘案し現行での対応が可能であると判断した。

不安・疑問点解消に向け、議論をつくり出します。